くきぶえ

第128号
2021年7月25日

社会福祉法人
魚沼更生福祉会
TEL (025) 793-7590
FAX (025) 793-7595
E-mail：uonumakousei@ar.wakwak.com
http://www.uonumakousei.com/

「湯之谷工芸利用者さんの作品：虹」

お昼休みを利用して、利用者の皆さんから「好きな絵」を描いてもらいました。
カラフルな虹と色とりどりの絵がとてもきれいです。

できないからできる

新潟県立小出特別支援学校
校 長　堀 井　利衛子

昨年度から小出特別支援学校に勤務しております。着任早々、通勤途中でカモシカに出会い、素晴らしい脚力に感動しました。夏秋には魚沼の里山数か所に登りました。そして、小出で初めての冬を終えました。この一年、自然のもつ底力、美しさに励まされるとともに、この地で出会う人々の謙虚さ、温かさ、深い知性にハッとさせられています。

教員という仕事を通してたくさんの子どもたちに出会い、「自立とは何か」を問い続ける中で、「自分が人生の主人公として生きる」「社会の中で何らかの役割を果たす」の二つが達成されることが自立の姿と考えるようになりました。この捉えは、これから変わっていくかもしれないし、子どもを育てる立場にある人は、各々の解をもっていることと思います。

一方、「勉強ができない」「友達と仲良くできない」など「できない」といって、くやしがる子、悲しがる子、あきらめてしまう子たちに伝えて

きたことがあります。

鳥は自由に空を飛ぶことができる。けれども「飛べるようになりたい」とは思わない。人は飛ぶことができない。だからこそ、「飛びたい」と願い、忍耐と工夫と多くの失敗を重ね、飛行機を発明し、多くの人とともに空を飛んでいる。困難を受け入れ、乗り越え、「次」を考えることで飛べない自分を克服していく。「飛ぶ」を超えた、もっと「すごいこと」ができる可能性を人はもっているのだよ、と。

コロナ禍で「できない」ことがあふれています。当校においても、臨時休業を余儀なくされる事態となり、児童生徒、保護者の皆様、関係機関の皆様をはじめ、多くの方々に御心配と御迷惑をおかけしました。しかし、そのやるせなさの中に希望を与えてくれたのは、子どもたちの前向きな姿でした。ｉＰａｄを活用し、できないと思っていた「会える時間」が実現したとき、子どもたちが画面を通して生き生きと話しはじめたとき、ほんの少し前に進んだように感じたのです。

課題は山積みですが、未来は確実に変わっていきます。変えていくのは、今目の前にいる子どもたち。この子たちが社会の中で生きていくために、私たちがすべきことに思いを巡らします。ＩＣＴを活用してできるようになることはないか。子どもたちの内在する力を引き出すために、一人一人を丁寧に見取り、その価値を見出し、意味付けていかなければ。社会への道筋を地域の皆様と一緒に考えていかなければ、などと。どのような状況下においても、子どもたちの可能性を眠らせないことが学校教育の責務です。小出特別支援学校では、教職員が力をあわせ、一人一人が懸命に考え、充実した授業を実践し、みんなで知恵を出し合うという営みをひたむきに続けていきます。子どもと接する仕事をさせていただいている幸せをかみしめながら、「できないからできる」が子どもたちの力を生み出し、未来の自立した姿につながると信じて。

お世話になりました

前湯之谷工芸所長　髙橋　由子

四十三年間、魚沼更生福祉会に勤めさせていただき、利用者の皆様、関係者の皆様と共に過ごせたことに心から感謝申し上げます。

昭和五十二年、新潟県ミニコロニー構想の第一号として六花園が開所しました。六花園のご家族が施設運営に参画するという構想の下、来園されて協力をしていただきました。初めての試みで戸惑いもありましたが、施設で生活をする我が子の姿を見ることができ、利用者の皆さんにとってもご家族が毎月来園されることで、互いに安心して生活をすることができたと思います。また、職員とご家族が懇談する機会も多く、想いを直に感じることができました。

時代の流れや法律の改正等で施設運営も様変わりをしてきていますが、いつまでも利用する人の為の施設であってほしいと思います。

長い間本当にありがとうございました。

よろしくお願いします

湯之谷工芸所長　平松智恵美

この度、髙橋前所長の後任として湯之谷工芸に務めさせていただいております。

湯之谷工芸が開設した平成九年に魚沼更生福祉会に入職しました。魚沼で同じ年月を過ごしてきた湯之谷工芸に務めることになり親近感が湧いております。よろしくお願いいたします。

さて、湯之谷工芸では、現在三十五名の方が利用されています。就労移行支援・就労継続支援Ｂ型に加え令和二年四月からは一般就労をした方の日常生活や社会生活上の問題に対し、相談・助言・指導等必要な支援を行う、就労定着支援事業での取組みを行っています。一人でも多くの方の社会に出るお手伝いができればと思っております。新型コロナウイルスにより色々と制限、影響を受けておりますが、利用者の皆さんに安心・安全な場の提供ができるよう職員一同努めていきたいと思います。

六花園

コロナ禍で

生活支援員　渡部　由夏

「いつ家に帰れるの？」「買い物にいつ頃行ける？」このような言葉が毎日のように聞かれ、私たち職員もどうしたら良いかと戸惑うことがあります。

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、六花園でも密を避けての日課を行っています。カラオケができない、行事は中止…など楽しみが減っている中で、私たちに何ができるのか今一番の課題です。

暖かくなり、散歩に出て利用者さんとゆっくり向き合う時間ができると、自然と会話も弾みます。当たり前のことなのかもしれませんが、穏やかな環境でゆっくり向き合うことがどれ程大切か、コロナ禍だからこそ気付けたような気もします。

今後も感染防止に努めて参ります。一日でも早くいつも通りの日常に戻りますように。

園長と一緒に散策

みんなで散歩に行きました

日差しが暖かいです

農作業を行っています

かけはし

自分らしく暮らすために

相談支援専門員　中沢千恵子

うおぬま相談支援センターは、障害のある方の総合相談窓口としてかけはし内に設置されています。身体・知的・精神と障害の種別を問わず、またご本人様だけではなく、ご家族や関係者等どなたでも、障害のある方の生活にかかわることでしたら、相談を受け付けています。住まいのこと、お金のこと、就労のこと、対人関係のこと等、相談内容は多岐にわたります。「困ったなあ」「もっとこうなりたい」という思いを受け止め、必要に応じて福祉の制度やサービスを紹介して、ご要望に添えるようにしています。もちろん、サービスを利用しても解決できないことも沢山ありますが、それでも「私はこんな風に暮らしていきたい」という希望に少しでも近づけるよう、その方に寄り添って一緒に考えていきたいと思います。

内部研修でグループワークをしています

研修が終わり
「お疲れさまでした！」の1枚です

堀之内工芸

お楽しみ会

生活支援員　江頭ジョリマ

依然として新型コロナウイルスは猛威をふるっており、感染防止のため、恒例の行事やイベントの計画が次々と取りやめになり利用者の皆さんには我慢をお願いすることが多くなっています。そんな中ではありますが、今年も行事の代替として事業所内でお楽しみ会を行っています。

六月はまたたびの家の方から目の前でたい焼きを焼いていただきました。そして七月は味乃家魚野川さんの焼きたてピザをテイクアウトして皆で食べました。密を避けながら時間差で食べるなどの感染対策もしっかり行いました。利用者の皆さんの嬉しそうな笑顔が見られ嬉しくなりました。

まだまだ先の見えない状況ではありますがこれからも感染防止を心掛け今できることを精一杯取り組んでいきたいと思います。

6月　たいやき♬

たいやきゲット♬

7月　ピザパーティ

わあ！ 美味しそう！

湯之谷工芸

自主製品班の一日

生活支援員　櫻井　光

湯之谷工芸『自主製品班』では四種類の作業を行っております。

今回は小川電気様の受託作業風景について紹介します。

「お願いします!!」元気な挨拶と共に自主製品班の一日はスタートします。

最初は作業担当職員が作業の振り分けを行いますが、利用者の皆さんからは責任を持って作業に取り組んでもらっています。利用者さん同士での声の掛け合いはもちろんのこと、時には笑顔を交わすほっこりとした雰囲気です。

協力し合いながら

「エッホ、エッホ」

ところが、作業になると一変します。材料に欠けている部分はないか、汚れは残っていないか、シールはしっかりと剥ぎ取られているか等、目を凝らさなければ見逃してしまうほど細かな作業ですので集中して行います。肩まで凝ってしまって、休憩に入るとストレッチをする方も…。

作業を終了すると「お疲れさまでした!!」「明日もよろしくお願いします!!」と元気な挨拶と共に帰路につきます。

さて、帰ったらゆっくり休んで、明日も利用者さん・職員一丸となって作業を頑張りますか！

キレイに拭きます!!

一緒に確認します

ひろかみ工芸

頼れる新たな味方

目標工賃達成指導員　関　泰

平成十六年のひろかみ工芸開所から十五年余り、厨房機器も寿命を迎えつつあり、この度二つの機器を更新しました。

一つは食器洗浄機、あちこち修理をしながら頑張ってもらいましたが、ついに限界。

有難いことに真柄福祉財団様から助成をいただき、買い替えることができました。この場を借りて御礼申し上げます。

もう一つは、魚焼きグリルに代わる万能調理器として、スチームコンベクションオーブンを導入しました。

これは蒸気と熱風を組み合わせることにより、従来のオーブンよりふっくらとした焼き上がりとなり、炒め物や麺類の調理なども可能、と昨今では大規模調理においては欠かせない調理機器です。

また加熱温度が一定となり、ムラのない調理、すなわち提供品質を均質化することができることも大きな利点です。

これまで肉や魚の焼き加減は調理者個々の経験に頼っていましたが、温度とタイマーをセットすることで毎回同じ仕上がりが実現しました。

頼りになる新兵器をフル活用し、キッチンひろかみでは今後も安心・安全でおいしいお弁当を提供していきます。

ピカピカの洗浄機で
洗い物がんばるぞ！

魚もふっくらジューシーに

またたびの家

バーベキュー行事

生活支援員　榎本　由美

五月の清々しい新緑の中、またたびの家の屋外でバーベキューを行いました。外出を伴う行事が難しくなっている今、参加されたメンバーさん方はこの日をとても楽しみにされていました。

幹事さんを筆頭に力持ちの方はテントを組み立て、そうでない方は野菜を切ったり運んだり、食べる専門の方もいたのかな？皆で協力し準備もスムーズに進みました。バーベキューでお腹はいっぱいになるも、デザートの「かき氷」には順番待ちの列ができ、美味しく楽しく締めることができました。

熱々の鉄板で焼き放題!!

お天気にも恵まれました

ぷりっぷりの
ジャンボえびも♪

今後の行事についても、メンバーさんの日常的なストレスや気分の落ち込みをなるべく軽減できるよう、職員一同ひとつひとつに工夫を凝らしていきたいと思います。

またたびの家は現在建物を新築しています。十月には完成し、新たにお弁当事業を開始します。開始に向けてメンバーさんと協力し試行錯誤しながら、お弁当の試作に取り組んでいます。より地域に密着した事業として発展させ、社会にも貢献していきたいと考えています。

手作りハンバーグもジャンボです！

愛情も詰め込んじゃいますネ♥

わかあゆ社

日常の変化

目標工賃達成指導員
関　元哉

新型コロナウイルスが蔓延してから約一年が経ち、私たちの生活は様変わりしました。

外を歩く人はマスクを着用し、接触の機会がある時は、アルコールで手指消毒をする。どれも日常的な姿となりました。

わかあゆ社の「喫茶ウインドー」もそんな新型コロナのあおりを受け、少し様子が変わりました。

テーブルにはアクリル板を設置し、店内に加湿機能付き空気清浄機、お店の入り口に非接触型の顔認識による検温器を導入しました。いずれも感染防止の心強い味方です。

顔を近づけるだけで測れます

日常の変化は、利用者の方にも影響を与えています。

それまでは何気なく行けていた買い物や外食なども、外出自粛の必要性から、今や大切なイベントとなっています。

そのような中でも、楽しみのひとつになればと思い、「花見」へ行ってきました。

遠出はせずに、近隣を散歩しながら桜を愛でる形となりましたが、花で癒されたのか自然と笑みがこぼれていました。

感染予防の観点からできないことが目立つようになりました。少しでもできることを見つけて提供し、徐々にそれまでの日常を取り戻せたらと思います。

サクラの前で記念撮影

令和二年度 寄附者芳名

●六花園（法人を含む）●

《魚沼市》
・吉田　勇　様
・シンコー株式会社　様
・六花園家族会　様
・魚沼市森林組合　様
・玉川酒造株式会社　様
・有限会社須田義肢製作所　様
・合資会社みうらや　様
・金井　一也　様
・桜井　誠　様
・渡辺　和則　様
・富永　ヒサ　様
《南魚沼市》
・南雲　幸男　様
《長岡市》
・山田佳多子　様
《小千谷市》
・全日本錦鯉振興会新潟地区　様
・東京電力労働組合信濃川支部　様
《新潟市》
・公益財団法人真柄福祉財団　様
《千葉県八街市》
・武田　勝秋　様

●かけはし●

※多くの方からアルミ缶、新聞等のご寄附をいただきました。

●堀之内工芸●

《魚沼市》
・玉川酒造株式会社　様
・小出特別支援学校　様
・城山　様
・百菜花ん　様
・株式会社シンガポールファッション　様
《南魚沼市》
・野口株式会社石打営業所　様
《小千谷市》
・三仏生繊維株式会社　様

※多くの方からたくさんの野菜、アルミ缶、古新聞等のご寄附をいただきました。

●湯之谷工芸●

《魚沼市》
・株式会社本高砂屋新潟工場　様
・湯之谷工芸家族会　様
・魚沼更生福祉会後援会　様
・星　道子　様
・山之内　宏　様
・佐藤　邦男　様
・桜井　タケ　様
・株式会社ゆのたに　様
・百菜花ん　様
・匿名　様
《南魚沼市》
・上越ヤクルト販売株式会社　様

※多くの方からたくさんの野菜等をご寄附いただきました。

●ひろかみ工芸●

《魚沼市》
・百菜花ん　様
・魚沼市森林組合　様
・玉川酒造株式会社　様
・ものずき村　様
・丸五青果　様
・穂積屋清掃社　様
・小出特別支援学校　様
・広神物資納入組合　様
・ひろかみ工芸家族会　様
《新潟市》
・公益財団法人真柄福祉財団　様

※多くの方からたくさんの野菜、ジュース、マスク等ご寄附いただきました。

●またたびの家●
《魚沼市》
・渡辺　泰子　様

●わかあゆ社●
《魚沼市》
・小川眞智子　様
・廣川　剛夫　様
・星　美鈴　様
・瀧澤　陽子　様
・渡辺商店　様

※多くの方から空き缶やお菓子等ご寄附いただきました。

ボランティアをありがとうございました

●六花園●
《魚沼市》
・渡辺　正男　様・ラブ　様
・堀之内ボランティアの会　様
・山遊会　様

●かけはし●
《魚沼市》
・とんとんお話の部屋　様

●湯之谷工芸●
《魚沼市》
・湯之谷工芸食堂ボランティア　様
・湯之谷工芸喫茶ボランティア　様

●またたびの家●
《魚沼市》
・佐藤健志郎　様

●わかあゆ社●
《魚沼市》
・佐藤　憲吉　様

グループホーム「またたび」開所

昨年から国・県補助金の助成を受け移設新築整備を進めていました「またたび寮」が、名称を「またたび」に改め四月一日に開所しました。

念願のグループホームが整備できました。

公益財団法人真柄福祉財団 様からの助成

真柄福祉財団様から、六花園ではリフト付き軽自動車の助成を、ひろかみ工芸では食器洗浄機整備の助成をいただきました。

利用者様の通院等に活用してます。

弁当事業で活用しています。効率的に作業ができます。

魚沼更生福祉会後援会からのお知らせ

令和二年度も大勢の皆様からご賛同をいただき、誠にありがとうございました。

○令和二年度の主な収入と支出

《収　入》
・会費収入
一、九三六、三五六円
（団体会員　八九団体
九五〇、〇〇〇円）
（個人会員　四六三人
九八六、三五六円）
・積立金戻入
四、〇〇〇、〇〇〇円

《支　出》
・湯之谷工芸トイレ改修工事助成
二、〇〇〇、〇〇〇円
・法人本部車庫整備助成
二、〇〇〇、〇〇〇円
・施設広報紙印刷代等助成
二五四、〇〇〇円

今年度も皆様方のご支援をお願い致します。

（魚沼更生福祉会後援会事務局）
魚沼市堀之内二一九七－一
法人本部内
TEL〇二五－七九三－七五九〇

《苦情解決について》

当法人では、利用者様、ご家族様、地域の皆様からの苦情を適切に解決し「サービスの質の向上」に努めています。

○令和二年度の苦情件数

・六花園　16件
・そよかぜ　6件
・かけはし　1件
・堀之内工芸　12件
・湯之谷工芸　12件
・ひろかみ工芸　11件
・またたびの家　3件
・わかあゆ社　3件

苦情の内容を確認し、適切な解決に努めました。

魚沼更生福祉会 役員及び評議員

六月十七日開催の評議員選任・解任委員会で次期評議員が左記のとおり決まりました。

・江畠　康子（長岡市）
・瀬沼　賢一（小千谷）
・林　和男（魚沼市）
・山崎　敏弘（南魚沼市）
・桜井　忍（魚沼市）
・小林　輝実（南魚沼市）
・加藤佑三郎（南魚沼市）

六月二十四日開催の定時評議員会で次期理事・監事が選任されました。

また、同日開催の理事会で理事長、業務執行理事が選定されました。

・理事長　角屋　禮士（魚沼市）
・業務執行理事　樋口　賢二（長岡市）
・業務執行理事　佐藤　俊道（魚沼市）
・理　事　井口　正博（魚沼市）
・理　事　勝　高太郎（長岡市）
・理　事　岡本　朝子（魚沼市）
・監　事　渡邉　和雄（魚沼市）
・監　事　阿達　俊男（魚沼市）

《職員の動向》

◎令和二年度（四月二日以降）

四月二十七日付け採用
・かけはしヘルパー兼指導員（臨時）　坂大菜津紀

四月二十九日付け退職
・六花園生活支援員　荒井　達也

五月三十一日付け退職
・またたびの家目標工賃達成指導員　大羽賀大輔

七月三十一日付け退職
・そよかぜ世話人（パート）宮　一美
・そよかぜ夜間支援員（パート）　石川　慶子

八月三十一日付け退職
・そよかぜ世話人（パート）鈴木　洋子
・またたび寮世話人（パート）　湯本　照美

九月一日付け採用
・六花園生活支援員（パート）　森山　洋子
・かけはし指導員（臨時）　平沢　璃來
・ひろかみ工芸生活支援員（パート）　高橋　美鈴

十一月一日付け採用
・またたび寮世話人（パート）　湯本　通子

十二月三十日付け採用
・そよかぜ夜間支援員（パート）　腰越　勝利

十二月三十一日付け退職
・六花園生活支援員　舛上　春華

一月一日付け採用
・またたびの家調理員（パート）　徳永　晴香

一月二十一日付け採用
・そよかぜ夜間支援員（パート）　森山　栄一

三月一日付け採用
・またたび寮世話人（パート）　髙橋　優子

三月三十一日付け退職
・湯之谷工芸所長　髙橋　由子
・六花園生活支援員　佐藤　遥
・湯之谷工芸生活支援員　五十嵐亜耶

◎令和三年度

四月一日付け採用
・六花園生活支援員　坂西　祐哉
・六花園生活支援員　井上　忍
・六花園生活支援員　平沢　璃來
・堀之内工芸生活支援員　江頭ジョリマ

正規職員への転換
・六花園生活支援員　浅井美香子
・かけはしヘルパー兼指導員　坂大菜津紀
・湯之谷工芸職業指導員　小杉　順子
・またたびの家生活支援員　吉田　倖

四月一日付け異動
・湯之谷工芸所長　平松智恵美（六花園生活支援課長）
・六花園生活支援課長　諏佐　望（そよかぜサービス管理責任者（主任））
・六花園生活支援員　丸山　明美（そよかぜ生活支援員）
・六花園生活支援員　佐藤真由美（堀之内工芸生活支援員）
・そよかぜサービス管理責任者（主任）　阿達　陽子（そよかぜサービス管理責任者）
・そよかぜサービス管理責任者　諸橋　聖美（湯之谷工芸サービス管理責任者）
・そよかぜ生活支援員　駒形香奈恵（六花園生活支援員）
・そよかぜ生活支援員　繁田可奈子（かけはし指導員）
・かけはしヘルパー兼指導員　玉村美千子（そよかぜ生活支援員）
・堀之内工芸生活支援員　近藤　亜実（六花園生活支援員）
・湯之谷工芸サービス管理責任者　馬場真由美（ひろかみ工芸サービス管理責任者）
・湯之谷工芸生活支援員　櫻井　光（六花園生活支援員）
・ひろかみ工芸サービス管理責任者（主任）　椛沢恵美子（堀之内工芸サービス管理責任者）

【お知らせ】
今年の六花園祭は、新型コロナウイルス感染防止のため中止します。

編集後記

今年も暑い夏がやってきました。新型コロナウイルス感染防止に加え熱中症についても対策を行わなければなりません。自分自身や周りの大切な人を守るためにも一人ひとりが気をつけていきましょう。

松原

「くさぶえ」は、魚沼更生福祉会後援会からの助成で発行しています。

令和２年度　社会福祉法人魚沼更生福祉会　決算状況

法人単位資金収支計算書

（自）令和 2年 4月 1日（至）令和 3年 3月31日

（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)－(B)
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	74,890,000	75,252,188	−362,188
		障害福祉サービス等事業収入	785,210,000	779,289,362	5,920,638
		福祉有償運送サービス事業収入	2,130,000	2,115,780	14,220
		経常経費寄附金収入	1,770,000	1,883,299	−113,299
		受取利息配当金収入	121,000	49,316	71,684
		その他の収入	6,230,000	5,662,931	567,069
		事業活動収入計(1)	870,351,000	864,252,876	6,098,124
	支出	人件費支出	574,620,000	566,724,799	7,895,201
		事業費支出	109,813,000	98,448,959	11,364,041
		事務費支出	76,825,000	62,693,905	14,131,095
		就労支援事業支出	73,585,000	74,381,517	−796,517
		支払利息支出	160,000	142,011	17,989
		その他の支出	2,340,000	2,370,461	−30,461
		事業活動支出計(2)	837,343,000	804,761,652	32,581,348
	事業活動資金収支差額(3)=(1)−(2)		33,008,000	59,491,224	−26,483,224
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	32,890,000	32,896,000	−6,000
		施設整備等寄附金収入	4,000,000	4,000,000	
		固定資産売却収入	650,000	650,000	
		施設整備等収入計(4)	37,540,000	37,546,000	−6,000
	支出	固定資産取得支出	218,945,000	217,837,866	1,107,134
		固定資産除却・廃棄支出	600,000	598,151	1,849
		ファイナンス・リース債務の返済支出	3,090,000	3,073,132	16,868
		施設整備等支出計(5)	222,635,000	221,509,149	1,125,851
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)−(5)		−185,095,000	−183,963,149	−1,131,851
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	175,819,000	175,820,626	−1,626
		拠点区分間繰入金収入	248,069,000		248,069,000
		サービス区分間繰入金収入	5,000,000		5,000,000
		その他の活動による収入計(7)	428,888,000	175,820,626	253,067,374
	支出	積立資産支出	45,960,000	45,869,500	90,500
		拠点区分間繰入金支出	248,069,000		248,069,000
		サービス区分間繰入金支出	5,000,000		5,000,000
		その他の活動支出計(8)	299,029,000	45,869,500	253,159,500
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)−(8)		129,859,000	129,951,126	−92,126
予備費支出(10)			7,000,000 −488,000	—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)−(10)			−28,740,000	5,479,201	−34,219,201
前期末支払資金残高(12)			414,243,000	414,245,729	−2,729
当期末支払資金残高(11)+(12)			385,503,000	419,724,930	−34,221,930

（注）予備費支出△488,000円は、事業費支出に133,000円、固定資産取得支出に355,000円を充当使用した額である。

法人単位事業活動計算書

（自）令和 2年 4月 1日（至）令和 3年 3月31日

（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)−(B)
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	75,252,188	79,529,857	− 4,277,669
		障害福祉サービス等事業収益	779,289,362	749,388,281	29,901,081
		経常経費補助金事業収益		64,000	− 64,000
		福祉有償運送サービス事業収益	2,115,780	2,556,540	− 440,760
		経常経費寄附金収益	1,883,299	2,457,550	− 574,251
		サービス活動収益計(1)	858,540,629	833,996,228	24,544,401
	費用	人件費	567,536,799	525,711,165	41,825,634
		事業費	98,180,774	88,875,346	9,305,428
		事務費	62,716,405	59,052,766	3,663,639
		就労支援事業費用	75,269,412	78,394,099	− 3,124,687
		減価償却費	48,564,879	49,412,042	− 847,163
		国庫補助金等特別積立金取崩額	− 29,942,726	− 30,877,888	935,162
		サービス活動費用計(2)	822,325,543	770,567,530	51,758,013
	サービス活動増減差額(3)=(1)−(2)		36,215,086	63,428,698	− 27,213,612
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	49,316	148,916	− 99,600
		その他のサービス活動外収益	5,662,931	5,926,384	− 263,453
		サービス活動外収益計(4)	5,712,247	6,075,300	− 363,053
	費用	支払利息	142,011	142,992	− 981
		その他のサービス活動外費用	2,370,461	2,379,934	− 9,473
		サービス活動外費用計(5)	2,512,472	2,522,926	− 10,454
	サービス活動外増減差額(6)=(4)−(5)		3,199,775	3,552,374	− 352,599
経常増減差額(7)=(3)+(6)			39,414,861	66,981,072	− 27,566,211
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	32,896,000	3,700,000	29,196,000
		施設整備等寄附金収益	4,000,000		4,000,000
		固定資産売却益	649,998		649,998
		特別収益計(8)	37,545,998	3,700,000	33,845,998
	費用	固定資産売却損・処分損	984,712	181,287	803,425
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却時)		− 27,864	27,864
		国庫補助金等特別積立金積立額	32,896,000	3,700,000	29,196,000
		特別費用計(9)	33,880,712	3,853,423	30,027,289
	特別増減差額(10)=(8)−(9)		3,665,286	− 153,423	3,818,709
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			43,080,147	66,827,649	− 23,747,502
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		563,886,496	615,685,847	− 51,799,351
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		606,966,643	682,513,496	− 75,546,853
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)		174,881,626	488,827,812	− 313,946,186
	その他の積立金積立額(16)		43,750,000	607,454,812	− 563,704,812
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)−(16)		738,098,269	563,886,496	174,211,773

法人単位貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

（単位：円）

資産の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産	498,416,790	454,006,024	44,410,766
現金預金	377,416,030	334,436,095	42,979,935
事業未収金	119,183,856	117,439,269	1,744,587
貯蔵品	104,186	327,760	− 223,574
商品・製品	32,443	69,104	− 36,661
原材料	51,199	57,927	− 6,728
立替金	274,489	265,394	9,095
前払費用	1,354,587	1,410,475	− 55,888
固定資産	1,469,455,690	1,427,313,489	42,142,201
基本財産	855,260,137	808,538,199	46,721,938
土地	213,144,194	213,144,194	
建物	642,115,943	595,394,005	46,721,938
その他の固定資産	614,195,553	618,775,290	− 4,579,737
建物	5,403,062	5,772,542	− 369,480
構築物	34,024,779	22,969,305	11,055,474
機械及び装置	9,185,911	6,711,610	2,474,301
車輌運搬具	2,962,191	1,662,018	1,300,173
器具及び備品	12,144,414	10,543,044	1,601,370
建設仮勘定	111,279,800	3,734,300	107,545,500
有形リース資産	3,949,184	2,721,150	1,228,034
権利	555,320	941,880	− 386,560
ソフトウェア	1,138,375	309,825	828,550
無形リース資産	6,229,822	6,398,080	− 168,258
退職給付引当資産	17,208,000	16,050,000	1,158,000
施設整備等積立資産	379,145,812	510,354,812	− 131,209,000
工賃変動積立資産	5,766,101	5,168,727	597,374
設備等整備積立資産	13,738,224	14,258,224	− 520,000
修繕積立資産	500,000	500,000	
長期前払費用	938,567	670,382	268,185
その他の固定資産	10,025,991	10,009,391	16,600
資産の部合計	1,967,872,480	1,881,319,513	86,552,967

負債の部	当年度末	前年度末	増減
流動負債	104,679,098	65,499,102	39,179,996
事業未払金	23,446,249	22,013,805	1,432,444
その他の未払金	36,487,900		36,487,900
1 年以内返済予定リース債務	3,098,880	2,547,838	551,042
未払費用	13,870,300	12,357,371	1,512,929
預り金	592,748	1,472,519	− 879,771
職員預り金	1,994,241	1,831,569	162,672
前受金	2,216,780	1,958,000	258,780
賞与引当金	22,972,000	23,318,000	− 346,000
固定負債	24,288,130	22,621,384	1,666,746
リース債務	7,080,130	6,571,384	508,746
退職給付引当金	17,208,000	16,050,000	1,158,000
負債の部合計	128,967,228	88,120,486	40,846,742
純資産の部			
基本金	144,238,071	144,238,071	
基本金	144,238,071	144,238,071	
国庫補助金等特別積立金	557,418,775	554,792,697	2,626,078
国庫補助金等特別積立金	557,418,775	554,792,697	2,626,078
その他の積立金	399,150,137	530,281,763	− 131,131,626
施設整備等積立金	379,145,812	510,354,812	− 131,209,000
工賃変動積立金	5,766,101	5,168,727	597,374
設備等整備積立金	13,738,224	14,258,224	− 520,000
修繕積立金	500,000	500,000	
次期繰越活動増減差額	738,098,269	563,886,496	174,211,773
次期繰越活動増減差額	738,098,269	563,886,496	174,211,773
（うち当期活動増減差額）	43,080,147	66,827,649	− 23,747,502
純資産の部合計	1,838,905,252	1,793,199,027	45,706,225
負債及び純資産の部合計	1,967,872,480	1,881,319,513	86,552,967